令和2年度　学校評価　報告書

報告日
令和3年3月19日

幼稚園名	芦屋市立西山幼稚園
園長名	村上　洋子　　印

1　今年度の重点目標

1響き合う仲間を育むための教育の推進
2幼児の育ちと学びをつなげる幼小接続の研究
3子育て支援活動の充実

2　学校評価の実施方法についての学校関係者評価

園の教育目標，重点目標から評価項目を精選し，教職員対象の自己評価と保護者対象の教育目標が適切に実施されている。

3　学校自己評価結果

（　A:十分達成している　B:達成している　C:概ね達成している　D:達成していない　）

4　評価項目に係る学校関係者評価

No.	分野	重点	評価項目・取組状況	達成状況	改善方策	学校自己評価結果及び改善方策についての評価
1	教育課程	1・2	○響きあう仲間を育むための教育の推進 ・友達と関わりながら，考え合える保育を工夫した。また異年齢のペアを決め，遊んだり教えたりする機会をもち，互いに思い合う姿につながった。 ・2学期以降，開催方法の工夫により殆どの行事を行うことができ，幼児は行事に向けて友達と気持ちや力を合わせ，達成感や満足感を味わうことができた。 ○幼小の接続 ・1年生の育ちや幼稚園の実践について，小学校の先生と意見を交流することができ，相互理解につながった。	B	・今後も一人一人の内面理解を深め，友達と響き合いながら遊びを創り出す環境について，工夫していく。 ・異年齢のペア活動を引き続き行い，よりよい育ちにつなげていく。 ・今年度の経験を元に，幼児の育ちにつながる行事のもち方や内容を考える。・幼小の学びの連続性について次年度も教員同士の研究を行う。幼児が小学校へ行くことが可能になれば，連携していきたい。	・コロナ禍の中，子ども達のことを思い最善をつくしている。保護者と先生との信頼関係がしっかりと築かれていることで，子ども達が大きく成長している。自ら考え，人とのコミュニケーションをとることが大切だと思うが，その核となるものをしっかりと幼稚園は育てている。 ・西山幼稚園出身の子ども達は，知らない友達ともどんどん世界を広げていくたくましさがある。 ・小中学校との連携は，今後感染状況を見極め，何ができるか模索していきたい。
2	子育て支援	3	○子育て支援活動の充実 ・今年度より，週1回の園庭開放を行い，地域の未就園児が幼稚園で遊び，親同士や園とのつながりがもてた。 ・保護者の行事参加，参観，保護者による音楽コンサートの開催等，コロナ禍の中でできることを実施し，保護者の幼児理解や園との連携につながった。	B	・引き続き，未就園児の園庭開放等を行い，より充実するよう内容を工夫する。 ・これからも，保護者の幼児理解を深め，園との連携につながる子育て支援を進める。・次年度も保護者による音楽コンサートを計画的に行う。	・アンケートの感謝の言葉，肯定的な意見から，幼稚園がベストを尽くしたことがわかる。 ・アンケート結果より，地域との関わりの項目で個人差がある。幼稚園からも地域活動について保護者に伝え，地域と家庭をつなぐ役割を果たしていくことが大切である。

5　総合的な学校関係者評価

園における教育活動の取り組みや評価は良好である。今後も家庭や地域との連携を大切に，教育内容の充実や子育て支援の推進を期待する。